

二〇一六年九月二九日（長居植物園参加者九名）

うち仰ぐ池塘のパンパグラスかな

ひかり

雨止んだぞと竹林の虫すだく  
虹色の橋のかかりて水澄める

明日香  
明日香

句帳手に花野をめぐる吾らかな

ひかり

中島の五葉の松の色変へず

明日香

雨に伏し小径を塞ぐ藤袴

ひかり

園うらら花のアーチに愛の鐘

満天

潦うづめつくして萩の屑

ひかり

秋蝶の纏れては添ふハーブ園

満天

秋の人佇む雨の池塘かな

ひかり

幸せの鐘鳴りわたる花野かな

わかば

竹林のこみちをつづる秋の草

せいじ

万葉の径に燃え立つ曼珠沙華

ぼんこ

降り募る雨にな負けそ運動会

せいじ

秋天へしのぎを削る椰子並木

せいじ

吟行句会みのる選

万葉のみちゆく吾に虫すだく

せいじ

二〇一六年九月二九日（長居植物園参加者九名）